



Data

監督・脚本：ニコラ・ブドス
出演：ダニエル・オートウイユ／ギ
ヨーム・カネ／ドリア・ティ
リエ／ファニー・アルダン／
ピエール・アルディティ／ド
ウニ・ポダリデス／ミヒャエ
ル・コーエン

👁️👁️ みどころ

“ベル・エポック” = 「古き良き時代」は誰にでもある。令和に入った日本では今、「古き良き昭和」が見直されている。パソコン、スマホ、AIにも、自動運転の車にもついていけない本作の主人公にとっての“イエスタデイ・ワンスマア”は1974年5月16日のリヨンのカフェだが、それは一体なぜ？

「時の旅人社」の「タイムトラベルサービス」なる商品は高価だが、その価値は？それが誇大広告でなかったことは本作を観れば明らかだから、私も是非ヴィクトルのように、全財産をはたいてでも、その購入を！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■ “ベル・エポック”って何？ “古き良き昭和”と同じ？ ■□■

“ベル・エポック”はフランス語の「Belle Époque」で、「古き良き時代」のこと。Wikipediaによると、「厳密な定義ではないが、主に19世紀末から第一次世界大戦勃発（1914年）までのパリが繁栄した華やかな時代、及びその文化を回顧して用いられる言葉」だ。日本では、かつての「明治は遠くなりにはけり」というフレーズがそれに近いものだったが、私たち団塊世代やそれより少し前の人たちには今、「古き良き昭和」がテーマになっている。

TVのBSの歌番組は、今や演歌、ポップス、フォークとジャンルを問わず、昭和の歌で埋め尽くされているし、「武田鉄矢の昭和は輝いていた」はタイトル通りに“輝いている”から、私はほぼ毎週それにハマっている。昭和（天皇）の時代は64年間と長いから、どの時代に焦点を当て、何をテーマにするかによって毎回の“昭和の輝き”は違うが、何もかもデジタル化された社会についていけなくなった本作の主人公ヴィクトル（ダニエル・オートウイユ）にとっての“ベル・エポック”とは？

■□■ タイムトラベルサービスとは？その商品の内容は？ ■□■

映画は作り物だから、何でもあり。主人公はどんな時代にも行けるし、“タイムスリップ”

(現在の時間とは別の時間に移動すること)、あるいは“タイムトラベル”(何らかの目的があつて時間移動をすること)の手法を使えば、自由に“タイムトラベル”することができる。映画の中では“あの時代”から“この時代”へ自由に“タイムトラベル”することができる。しかし、本作には「時の旅人社」の創設者であるアントワヌ(ギョーム・カネ)と、同社が“売り”にしている「タイムトラベルサービス」が登場する。

フランスの“ベル・エポック”と聞くと、その1つとして、華やかなドレスに身を包んだ貴婦人が登場する舞踏会が思い浮かぶ。その代表は『オペラ座の怪人』だが、「時の旅人社」の「タイムトラベルサービス」では、そんな商品が巨大なスタジオ内に立てられたたくさんのセットの中で“生産”されているらしい。アントワヌはそんな商品の監督を兼ねているが、その独裁ぶりは“黒澤天皇”と呼ばれていた黒澤明監督とそっくり。現場でいつも癪癪玉を爆発させるアントワヌに、看板女優でありアントワヌの恋人でもあるマルゴ(ドリア・ティリエ)はいつも対立していたが、それもこれもアントワヌにとつては良い商品を提供したいという熱意の表れらしい。なるほど、なるほど……。

■妻のキャラは？夫婦仲は？夫婦喧嘩の結末は？■

2021年の今、ガソリンではなく電気で動く車が主流になっていくのは既定路線だし、自動運転の実現も射程距離に入っている。世界で最も多く売れているプラグイン自動車はテスラ社のテスラだが、リアンヌが乗っている車もそうらしい。テスラもトヨタと同じように「つながるクルマ」を開発のテーマにしているが、その目標どおりの車を、妻のリアンヌ(ファニー・アルダン)が運転している中、その助手席に座るヴィクトルが、「つながるクルマ」のおしゃべりにイラつく姿が面白い。ここまで何もかもすべて車によって指示されたら、ひょっとして私だって……。

リアンヌは、そんな夫とは違い、新しいことに敏感で、電子タバコ、睡眠アプリ等の最新機器をいとも簡単に取り入れている上、精神分析医の現役という立場もうまく利用して、夫の親友フランソワ(ドゥニ・ポダリデス)との浮気も楽しんでいるからすごい。そんな夫婦がうまくいくはずはない。というより、リアンヌは今日まで我慢に我慢を重ねてきたようだが、ある夜、ついに堪忍袋の緒が切れたリアンヌは、ヴィクトルを家から追い出してしまったからアレレ。昭和の時代の日本なら、夫が妻に対して「出ていけ」となるところだが、今のフランスは“男女平等”以上に“女性上位”の国だ。「ホントにいいのか？」等々のやり取りを経て外に出たものの、リアンヌからの“何か”を期待して座り込むヴィクトルと、夫を追い出したもののドアの内側でしばし反省しているリアンヌの対比も面白いが、結局、これにてヴィクトルとリアンヌの夫婦仲はジ・エンドに……？

■失意の父親への、息子からのプレゼントは？■

本作は、「あなたは時代から取り残されている！」と決めつけられ、家から追い出されてしまった父親に同情した息子のマキシム(ミカエル・コーエン)が、「時の旅人社」の「タイムトラベルサービス」をプレゼントするところから、本格的なストーリーが進んでいく。

「どの時代にタイムトラベルしたい？」と聞かれたヴィクトルは、迷わず「1974年5月16日のリヨンのカフェに戻りたい」とリクエスト。映画製作では、時代劇は金がかかるが、現代劇なら安上がり。しかも、ヴィクトルがそうリクエストしたのは、運命の女性との初めての出会いを再現したいというものだったから、その程度のセットとその程度のキャストなら簡単。しかも、イラストレーターのヴィクトルは、当時の店や服装、そしてマリアヌの姿形等を描いたイラストを何枚も持っていたし、その時に交わしたセリフも記録していたから、アントワヌがそれらを参考にして脚本を書くのも簡単だ。ちなみに、1974年は、私が弁護士登録をした年。同年5月13日に私は初めての民事事件で法廷に立ったから、本作でヴィクトルがリクエストした時代状況は私もはっきり覚えている。

半信半疑のままヴィクトルが指定されたセットに行くと、そこはまさに1974年のリヨンの町と彼が泊まったホテルが再現されていた。ホテルの部屋に入り、70年代のファッションに着替えると、顔は少し老けているものの、全体としてのヴィクトルは1974年5月16日当時の雰囲気ピッタリ！席に着き食事を始めると、そこに入ってきたのは、若き美女マルゴが演じるかつてのマリアヌだ。さあ、2人の運命の出会い是如何に？

ちなみに、マルゴはプロの女優だが、ヴィクトルは所謂演技はド素人。そんな2人の出会いと会話でヴィクトルを満足させるには、マルゴのイヤホン越しに細かく現場を演出するアントワヌ監督の演出力が大切だ。しかし、目の前の会話と耳からの指示をうまく両立させるのは大変。したがって、何度もイラつきながらマルゴがマリアヌになり切ったのは女優として立派なものだ。その結果、ヴィクトルはマルゴに対し「全部ウソでも楽しかった」と告げ、本来は一晩で終わりのはずなのに、「明日も来てくれないか？」と頼んできたから、息子から父親へのこのプレゼントは大成功！

■□■この恋、あの恋(?)に化学反応！劇中劇の波紋は？■□■

農耕民族の日本人は慎み深い(?)から、男女が知り合ってから肉体関係を結ぶまでにはさまざまなプロセスが必要。しかし、フランス人などの狩猟民族の男女は、知り合ってから肉体関係に入るまでの時間が短い。しかも、男女ともそれを生々しく表現するから、本作でも、ロマンチックな演出、脚本による1974年5月16日のリヨンのカフェでの男女の出会いとは別の現実として、①マリアヌとフランソワの浮気、②女優マルゴと監督アントワヌとの濡れ場、が存在していた。しかし、男女の恋とは微妙なもので、あの日のプレゼントは、この恋、あの恋(?)に化学反応を起こしたらしい。

『恋におちたシェイクスピア』(98年)は劇中劇の面白さが際立っていたが、本作では、「タイムトラベルサービス」の大成功によって、ヴィクトルとマルゴ扮するマリアヌとの出会いが、マリアヌとフランソワ、マルゴとアントワヌとの関係にも絶妙な化学反応を起こしていくことになるので、それに注目！

■□■劇中劇の第2幕、第3幕は？その主演女優は？■□■

「タイムトラベルサービス」による劇中劇の第1幕、「1974年5月16日」の続きを望むヴィクトルは、2晩の延長を要求したから、唾然とするほどの高額追加料金を受け取ったアントワヌがその脚本を書き、その演出をすべきは当然だ。もちろん、そこでマリアンヌを演じる主演女優は引き続いてマルゴだ。しかし、黒澤明監督以上の独裁ぶりを示すアントワヌに、マルゴはいい加減うんざり。

他方、ヴィクトルを追い出した後すぐにフランソワをベッドに引き入れていたマリアンヌも、目の前で見るフランソワのだらしない姿に今はうんざり。これなら、まだしも（やっぱり？）ヴィクトルの方がましだったかも？ひょっとして、ヴィクトルは私にとってかけがえのない素敵な男性だったのかも？

そんな化学反応が起きていることなどつゆ知らぬヴィクトルは、今やマルゴ扮するマリアンヌに夢中。今や唯一にして全財産である別荘までもマリアンヌに内緒で売り払って資金を作り、更なる延長を申し込んでしまうことに。さあ、劇中劇の代2幕、第3幕は？

■□■イエスタデイ・ワンスモアはなぜヒット？その実現は？■□■

本作の主人公ヴィクトルとほぼ同年代の私は新しいものも結構好き。しかし、パソコン、スマホ、AIの流れについていけないのは、ヴィクトルと同じ。したがって、私の携帯は今なおガラケーだ。そのガラケーも au は2022年3月、ソフトバンクは2024年1月、NTT ドコモは2026年3月には使用できなくなると脅されているから、ヴィクトルの気持ちはよく理解できる。

また、「いつの日に戻りたい？」と聞かれたヴィクトルが「1974年5月16日のリヨンのカフェに戻りたい」とリクエストした気持ちも、フランスと日本の違いこそあれ、私も同じだ。つまり、ヴィクトルにとっても私にとっても、今から考えれば、その時代が最も輝いていたわけだ。人間はどの国の人間でもいつの時代でもそんなものだから、「イエスタデイ・ワンスモア」という曲がはやり、受け入れられたのだろう。

「イエスタデイ・ワンスモア」はカーペンターズが1973年に発表したシングルで、その歌詞は、昔ラジオで聴いていたオールディーズを懐かしむという内容。同曲は日本とイギリスでのカーペンターズ最大のヒット曲になったし、CMソングとしてもチョー有名になった。その歌詞のラストは「Just like before It's yesterday once more (あの頃のように 過ぎし日々よ もう一度)」だが、それって実現可能なの？

■□■本作鑑賞後の“イエスタデイ・ワンスモア”は如何に？■□■

本作は、大金をはたいて「時の旅人社」の「タイムトラベルサービス」なる商品を注文すれば、「劇中劇」としてだが「イエスタデイ・ワンスモア」が実現できることをハッキリ教えてくれるから楽しい。しかも、1つの商品に過ぎないその劇中劇が、現実存在している男女間の恋にも大きな化学反応を起こしていく現実の展開も見せてくれるから更に面白い。すると、ひょっとして、本物の“イエスタデイ・ワンスモア”が実現するかも・・・？

当然そんな期待も湧いてくるが、さて本作は？

そんな期待を持って劇中劇の第2幕、第3幕を観ていると、何とそこでは主演女優のマルゴが突然降板。そんな、あっと驚く事態が起きるから、ええ、まさか、そんなバカな！それでは、すべてがぶち壊しになってしまうのでは？そんなハプニングが発生する中、本作後半からの“イエスタデイ・ワンスモア”のストーリーが始まっていくので、それはあなたの目でしっかりと！

しかして、本作鑑賞後は観客1人1人の“イエスタデイ・ワンスモア”は如何に？

2021（令和3）年7月12日記